

インターナショナル・ハウス・オブ・プレイヤー（国際祈りの家：IHOP） - マイク・ビッケル 預言的歴史を覚える（2019年）

セッション5 癒しの油注ぎ：エホバラファ、その他のビジョン

I. この民の前に立ちはだかることのできる病気は一つもなくなる（1983年5月21日）

- A. 1983年5月20日、主はボブに「詩篇28篇はこの民のためです」と語られました。
- B. 5月21日土曜日、詩篇28篇を読んでいると主の霊が私に訪れました。私は即座に産みの苦しみの霊に捉えられ、電流のような感覚が腹部と両手と唇に走りました（約45分間）。それは、癒しの油注ぎの増加のための約束と関連していると悟りました。

「1主よ。私はあなたに呼ばわれます。私の岩よ。どうか私に耳を閉じないでください。私に口をつぐまれて、私が、穴に下る者と同じにされないように。私の願いの声を聞いてください。私があなたに助けを叫び求めるとき。...6ほむべきかな。主。まことに主は私の願いの声を聞かれた。...7それゆえ私の心はこおどりして喜び、私は歌をもって、主に感謝しよう。8主は、彼らの力。主は、その油そそがれた者の、救いのとりで。」（詩篇28：1～8）

- C. その夜、預言的な夢を見ました。力強い癒しの油注ぎを伴って国々で多くの人々に触れていくこのムーブメントについてでした。主は、マタイ10章8節と第1コリント15章10節を与えてくださいました。

「病人をいやし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊を追い出さない。あなたがたは、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。」（マタイ10：8）

「...私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」（第1コリント15：10）

- D. 翌朝、ボブが私に言いました。「癒しの油注ぎについての約束を受け取りましたね。その前夜のビジョンの中で、主は私の前に現れてくださり、胸には『エホバラファ。わたしはあなたを癒す主』と記されたたすきがかかっていました（出エジプト15章26節－エホバとは「主」、ラファは「癒す」という意味）。主はたすきを外してこのムーブメントの代表者としてあなたにかけられました。そしてあなたに、「この民の前に立ちはだかることのできる病気は一つもなくなる」と語られました。主はあなたに『マタイ10章8節と第1コリント15章10節。あなたがたはただで受けたのだから、ただで与えなさい。全ては恵みによるのです』と宣言するように言われました」ボブは、癒しとは自分の力で起こすことができないものだと私に強調しました。それは、神の恵みの業なのです。
- E. 主はボブに語られました。それは、もし私たちがこの油注ぎを金稼ぎのために用いたり、不道徳のために悪用したり、自分のプライドのために扉を開くために使うようなことがあれば、主はこの「癒しのライセンス」を取り去るということでした。ボブは言いました。「今朝、瞬時に癒しが起こるでしょう。それは、後にさらに大きな規模で起こることのしるしとなります」

II. ドミヌス：神との友情から流れるミニストーリー（1985年3月）

- A. 1985年3月のボブ・ジョーンズの言葉：昨晚、「ドミノス」という言葉の書かれたイエスを見ました（ドミノスとはラテン語で主という意味です。イエスはご自身の心の様々な側面を見せるにあたって異なる顔を見せてくださいます）。
- 「愛する友よ、その若者のムーブメントについて心配するのは止めなさい。わたしが始めたのだから、わたしが完了します」
- 主は愛する友として現れてくださり、「わたしは馴染みのある友ドンとして彼に現れ、癒しの力を見せるとマイクに伝えなさい」と語られました。主は「神との友情」（神との親密さ）の中らご自身の癒しの力を明らかにしてくださると語られました。
- 「わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。」（ヨハネ15：15）
- B. 1985年5月のある早朝、夢の中で主を見ました。主は「馴染みのある友人ドンの顔のうちに」ご自身を表してくださいました。私とドンは大きな会場の後方にいました。その時突然、癒しが始まるのが直感的にわかり、私が彼に「行かなきゃ」と言うと、彼は微笑んで「今行ったほうがいいね」と応えました。私は会場の前方に走って行き、同時に病気を抱えている人たちも走って行きました。病人のための祈りについてのアナウンスはありませんでした。
- C. 私が手を伸ばしてある人に触れ、「イエスの名によって、癒されよ」と言うと、その人と他10人くらいが聖霊の力によって倒されて全員が癒されました。
- 振り返ってまた別のの人に触れ、「癒されよ！」と言うと、その人と他10人くらいが聖霊の力によって倒され、癒されました。椅子の方に手をかざすと、そこに座っていた人たち全員が神の力によって倒され、癒されてリフレッシュされました。
- D. 部屋を見渡すと、他のリーダーたちが通路を走って行き同じことをしているのが見えました。何千人もの人々が神の力によって床に横たわっていました。賛美は続いていました。私が最初にドンと一緒に立っていた場所に戻り、「これは主の業だ！主が来てくださった！」と言うと、ドンは微笑んで「その通りだね」と言いました。
- E. その頃、私たちは高校の講堂で礼拝をしていました。集会の前にステージの上でリーダーたちと集まっている時に、私は「昨日の夜パワフルな夢を見たよ。私の友人のドンも出て来た」と話しました。ボブ・ジョーンズはそこで、以前に主が馴染みある友人として現れてくださると語ったことを思い出させてくれました。リーダーの一人が、私が立っていた場所にテープが貼られていることに気づき、見てみると、テープでD-O-Nと書かれていました。学校の春の発表会のための準備で、カーテン係の名前が貼られていたのでしょう。

III. 1990年10月5日：神の力の十分な体験

- A. 1990年10月5日午前4時、主はトランスの中で私に現れてくださいました。主は私の目を見つめて、「コントロールの霊を持っている人はわたしの国を十分に経験することはできない」と語られました。主が3秒ほど語るのを止めると、私は霊のうちにはっきりと独占欲、宗教的持論という言葉を受けました。
- B. その次に主は「個人的な権利は全て手放さなければならない」と語られました。次の聖句が即座に与えられました。「...自分の冠を御座の前に投げ出して...」（黙示4：10）主の霊は「わたしと民の間には意見の相違（論争）がある。地とそれに満ちているもの、世界とその中に住むものは主のものである

る」(詩篇24:1)と語られ、さらに「イエスのみが全てのミニストリー、建物、経済、将来を所有しておられる」と強調されました。

- C. トランスから脱すると、神の力が私の内を流れ、15秒ほど体が激しく揺り動かされました。私は左手を伸ばして右手の震えを止めようとしてしました！主の霊は「わたしは力を現して、この真理を証明しよう」と語られました。
- D. 主は、「わたしは国際的な愛のファミリーを起こしている」と言われました。キリストの体のある流れのリーダーたちを他の流れに送り、国々のミニストリーの間にはパワフルなファミリーの関係と深い繋がりを築き上げます。
- E. 次にボブ・ジョーンズに会った時、彼は「主はあなたにヤコブのはしごを上らせました。そして、キリストの体にある『ヤコブの霊』に対抗しそれを取り除くための力を解き放とうとしておられることを見せてくださいましたね。主の再臨の前には、詐欺師の態度やその霊が神の霊によって取り除かれます」と言いました。

IV. 1990年5月7日：わたしは民の手を用いる

- A. 1990年5月7日、私は夢で主に会いました。主は大きな笑顔で私に近づいて来られました。そしてとても親しげに「元気かい？手を出しなさい」と言われました。私は主を目の前にして震えていました。主が私の手に触れると、手に力を感じました。「わたしはこの民の手に油を注ぎ、彼らの手を用います」と主は言われました。
- B. 1時間後、ボブ・ジョーンズから電話がありました。「主が昨夜あなたのところに訪れてとても重要なメッセージをくださいましたね」と言いました。そして、「主があなたに語られたことを固く握っていなさい」とも語りました。主は三度私の手に触れてくださいました。1983年5月21日、1990年5月7日、1990年10月5日です。その都度、ボブはそのことについて私に話しました。なぜそうであったのかは完全にはわかりませんが、主が私の信仰を強く保つようにと語っておられたことは確かです。

V. セッション1-4の証しのおさらい

- A. **ハワード・ピットマンが経験した天の体験-素晴らしい奇跡**：1979年8月、ハワード・ピットマンは神からの天の体験を受け、その中で神が「ギデオンの軍隊」を起こしておられることについて次のように語られました。「神はこの軍隊を油注いで素晴らしい奇跡をさせ、彼らは使徒の働きに記されているよりも偉大な神の力の現していくだろう。ある者たちはエリヤの奇跡よりも偉大なことを行う」
- B. **ポール・ケインが見たスタジアムについての開かれた幻**：ポール・ケインは25年の期間に100以上の開かれた幻を受けました。その中で、スタジアムにいるアナウンサーが報道しているのを見ました。彼は「この人たちは三日三晩ずっと食事も水も摂らず、着替えることもなしに集会を続けています。足のなえていた人たちが歩いています。手足を失くしていた人たちの手足が突然生えてきています。死人が生き返っています。壇上に立っている人たちが誰であるのか誰も知りません。名前も顔も知られていないミニスターたちです」と言いました。

- C. ボブ・ジョーンズは、スタジアムに向かって行進していく若いリーダーたちにイエスが油注いでおられるのを見ました（1984年7月3日）：1984年7月3日、ボブ・ジョーンズは、若いリーダーのグループが主を称えダビデの時代（第2サムエル6章）で契約の箱が運ばれていたように主を運んでいるのを見ました。将来、神はこのような若い人々を起し、並外れた力で油注ぎ、彼らが福音を語り使徒の働きに記されているように病人を癒す者とされます。このリーダーたちは、彼らの働きを通して癒しを受けた大勢の人々の行進を導いていました。何千人もの人々が道の両側に並び、彼らがグランドビュー通りからブルーリッジブルバードを通してアローヘッドスタジアムに向かって行進していくのを見ました。
- D. 私が1984年8月に受けた天の体験：幻の中で、私は天の部屋に立っていました。金色の四輪馬車が並んでいるのが見えました。それらは、神の力によって働くことのしるしでした（この幻の中で見た四輪馬車は50台ほどだったと思います）。若い人々が主からの指示を受けて馬車に乗り込むのが見えました。彼らがこの先に力強い油注ぎを受けることを意味していました。
- E. 1982年8月8日にボブ・ジョーンズが受けた体験：主はボブに現れて、1983年の春先に若い人々のグループが来ると語られました。「わたしが彼ら愛していることを知ってほしい」主は何度もボブに言われました。「わたしはこれから来る若い人々を愛している。彼らの手にはわたしの稲妻があるだろう」その後ボブは、ハバクク3章4節を読むようにと示されました。「神の力が彼らの手を通して光線のように放たれ、多くの人々が癒されます。足のなえた人、耳の聞こえない人、目の見えない人、また必要な人のためには新しい臓器が与えられます。その結果、多くの人が救われます」
「輝きは光のよう。ひらめきはその手から放たれ、そこに力が隠されている。」（ハバクク3：4）

VI. ジョン・ウィンバーとの素晴らしい関係

- A. 1984年1月、ボブ・ジョーンズはロサンジェルスから56キロほど離れたところに拠点を持つ働きとの繋がりが与えられると言いました。その働きには「憐れみと賛美」という旗じるしがあるということでした。
神はジョン・ウィンバー（1934～1997）が率いるアナハイムを拠点とするビンヤードミニストリーズのことを語っておられました。ボブも私もジョン・ウィンバーについてもビンヤードミニストリーズについても聞いたことがありませんでした。ボブは主がカンザスシティの「預言ととりなし」をビンヤードミニストリーズの「憐れみと賛美」と異花受粉させたいのだと言いました。
- B. 1984年6月、私はビンヤードの聖会に参加しました。ジョン・ウィンバーは賛美と憐れみについて強調していました。その時、私はジョンとは話ませんでした。その後ボブは私に、「これが1984年1月に主が語られた働きだ」と言いました。
- C. 1987年10月、ボブは主からの肉声を聴きました。ジョン・ウィンバーが3ヶ月後の1988年1月に私に電話をかけてくることでした。驚くことに1月、ジョンが実際に翌週のスタッフの修養会の講師として私を招くために電話をくれました。
- D. 1988年6月5日、ボブはまた主の声を聴きました。主がビンヤードにおいて3つの大きな扉を私に開くので、ジョンが1週間以内に電話してくるだろうとのことでした。ビンヤードは約5万人を率いており、ジョン・ウィンバーのインパクトは世界中で約百万人に及んでいると言いました。翌日、ジョンから電話がありました。ジョンに聞いてみると、全く同じ答えが返ってきました。ボブがその前日預言していた通り、ジョンは私を3つのミニストリーの場に招きました。

- E. ボブは、これが私にとって3年間の「聖霊の神学校の季節」となると言いました。そしてこれは、**約束ではなく警告**である。なぜならば百万人という規模の場面で私が主の前でどのように「出て行き、入る」のかを知らないからだと言いました。「あまりにも多くの機会や葛藤が同時に起こってくるので、あなたは今のように主に心を合わせていることが難しくなるでしょう。友人や敵との間に争いや嫉妬が起こります。この季節をジョン・ウィンバーとの訓練の時として受け止めなければならない。何年も先に起こるユースムーブメントを導くときには、同じような機会や葛藤がさらに激しさを増して起こるだろう」とボブは私に言いました。
- F. ジョンは1988年11月にスコットランドと一緒に行くように私を誘ってくれました。ジョンは「毎食一緒に食事をして、各セッションの後に話そう。あなたの預言的な話を全部聞かせて欲しい。あなたには変わったストーリーがたくさんあると友人のジャック・デアが言っていたから」と言いました。
- G. 1988年12月、ポール・ケインがジョン・ウィンバーと一緒に訪れました。その前にジョンは、ポールの訪問についての「しるし」があるかどうかと尋ねました。ポールは二つの地震について預言しました。一つは彼がアナハイムに到着する12月3日の午前3時38分（エレミヤ3：38を示す）に近くで起こり、もう一つは彼が出発する12月7日に海外（アルメニア・ソビエト社会主義共和国）で起こるとのことでした。（*Equipping the Saints*, January 1990参照）
- H. 1991年6月、私はジョンとのミニストリー旅行を辞退しました。1988年6月の会話から3年後でした。主はマタイ25章8～9節を通して私のともしびが消えようとしていると語られました。それゆえに、私は旅行を辞めて「油を買いに」行かなければならない。つまり、祈りと神のみことばのために時間を費やさなければならないということでした。
- I. 神の願いは、IHOPKCが賛美と憐れみを土台とした力強い癒しの油注ぎのうちを歩み、ジョン・ウィンバーの国際的な舞台で実践された彼のリーダーシップから学んだ事柄を教訓とすることです。